

◇ おうち時間 ◇

新型コロナウイルスの第1例目の感染者が報告されてから、既に2年近くとなります。昨今は、マスク・手洗い等が日常生活の一部となりました。

効果的な治療薬が出来るまでは、リモートワークや時差出勤など、コロナ禍の「新しい生活様式」を続けていくことになるかと思われます。

ステイホームが推奨され、必然的に「おうち時間」が増える中、「より快適に過ごしたい」「おうち時間を充実させたい」と思っている方は多くなりました。今回は「快適さ」と家の中の整理収納に、触れてみたいと思います。

◇ 整理収納とは？ ◇

この「整理収納」とは、どのようなことを意味するのかをお知らせします。何気に使っている「整理収納」という言葉ですが、意味を問われると即答できない人が多いかと思います。一般的に「整理収納」は、以下のように定義されています。

整理：不要なものを取り除き、なおかつ必要なものを分類すること。

収納：必要なものを取り出しやすく、使うときのことを考えて収めること。

家の中を片付ける時、収納グッズを購入し、そこにに入れておけば大丈夫！と思ってしまうがちですが、それでは根本的な解決にはなりません。

まずは、不要なものを取り除くことから始める必要があります。このように、口で言うのは簡単ですが、物の価値やそれに対する思い入れは人それぞれです。

他人からみると、意味のなさそうなものでも、本人にとっては、とても思い出の深い貴重なものであることもあります。

私達はモノに対し、「ときめくか、ときめかないか」という場合があります。世界的にも有名な「こんまり先生」こと、近藤麻理恵さんは、「ときめくかどうか」で残すモノを決める「こんまりメソッド」を編み出し、広く知られるようになりました。

「ときめくか、ときめかないか」でも良いですし、「必要か、必要ではないか」「いま使っているか、使っていないか」など、自分に合う基準で判断するのが良いのだと云います。モノに振り回されるのではなく、モノを管理コントロールできる環境を整えることが重要なのでしょう。

◇ 整理収納とSDGs ◇

日常生活の中にもSDGsに関連することはいろいろとあります。整理収納もそのひとつです。整理収納をすることによって、以下のメリットが得られると言われています。

① 時間的メリット

片付け上手になれば、物を探すための“タイムロス”をなくせます。
≫生活導線を意識した収納にすると、より効率よく家事を行うことができ、使ったものをもとの位置に戻しやすくなります。

② 経済的メリット

物が整理されていれば、無駄買い・二度買いが抑制されます。
≫在庫管理が容易になり、必要なものだけ購入することができ家計の節約にもなります。

③ 精神的メリット

片付いた空間は心にゆとりを与え、気持ちを前向きにしてくれます。
≫家の中が雑然としていると身体的にも精神的にもいい影響はありません。



普段はあまり意識していないかもしれませんが、些細なことも一人一人が取り組むことで、未来がかわる一歩へ、そしてSDGs達成へと繋がります。

快適な「おうち環境」を考える際に、SDGsを意識してみると、いつもとは違う気づきがあるかも知れません。

福地建築ファース本部では、SDGsの取り組みに関する支援を行っています。詳しい取り組み内容は、ファース本部オフィシャルサイトをご確認ください。

【 <https://www.fas-21.com/sdgs/> 】

SDGs・2030年に向けて持続可能な開発目標、「誰ひとり取り残さない社会構築」を目指し、私達ファースグループと関係する皆様方の健康と幸せが、世界中に広がりますよう、手を携えて社会活動を行って参りましょう。

(著：業務企画部 平田麻依)

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。国連加盟国によって採択された、2016年から2030年までの国際目標です。貧困に終止符を打ち、地球を保護し、全ての人々が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指し、17の目標と169のターゲットで構成されています。地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

※ファース本部は、政府がSDGs推奨を行った時点でいち早くSDGs宣言を行ったため、外務省のホームページで紹介されています。